

もみじ太鼓

平成 27 年度
京都市立高雄中学校 学校だより
11 月 18 日



4月21日に全国学力学習状況調査が行われました。本校でも3年生15名を対象に調査を実施しましたが、その結果がまとまりました。今年度は国語・数学・理科の3教科と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・理科）

国語A、B・数学A、B・理科のすべてで正答率は全国平均を上回っています。特に数学Bと理科では大きく全国平均を上回っています。しかしながら必ずしも理科の学習が好きというわけではありません。本校生徒は苦手な教科も、毎日の授業をしっかりと受けて、与えられた課題にまじめに取り組めます。このような地道な努力を続けることが結果に結びついていると考えられます。また、本校は小規模校であり、常に「少人数授業」を実践している中で、一人一人に目が行き届きやすい環境です。今回の調査で、すべての教科で全国平均を上回ったのは、このように「授業規律」が守られた日々の学習の積み重ねと、「少人数」での目の行き届く授業の継続の結果だと考えられます。一方、生徒質問紙から見て取れる「自分自身への自信（自己肯定感）の無さ」は、今後の本校の課題であると考えています。

国語科より

全体的によくできています。

A問題では、問題別に見ると、どの問題も比較的正答率が高く、うち5問は全国平均を10ポイント以上も上回っており、どの領域の力も身につけていると言えます。ただ、古典の作品名と「擬態語」などの用語に関する2問のみ、正答率が低くなっています。これは授業での扱いの頻度が少なかったためと思われるので、授業での反省材料にしたいと思います。

B問題では、「書く」領域が全国平均を20ポイントも上回りました。わからないとあきらめることなく、自分なりにしっかり問題に向き合っている姿が見て取れました。



数学科より

数学A、Bとも全国平均を上回り、全体的に頑張りました。

特に基本的な計算については定着できています。

しかし、「グラフの読み取り」「理由を説明する」「証明問題」という記述式の問題に課題があります。筋道をたてて、答案を通してしっかり相手に伝える練習が今後も必要です。

授業においては、今後は関数分野・図形分野を中心に「意見を発表する」「答案をしっかりと書く」という授業を引き続き心がけて行っていく予定です。

また、今までの学習確認プログラムの問題やこれから進路決定に向けて、入試問題を数多く解いて、家庭学習をしっかりとがんばりましょう。



理科より

総合的な正答率の平均は、全国平均と比べ14.6ポイントと大幅に上回りました。設問（出題）を知識、活用と2つに区分した場合も、それぞれ14.2ポイントと上回っています。対話形式の長い文章の問題を丁寧に読み取っています。それは、生物領域の正答率が83%を超えている（少人数とはいえ驚異的な正答率です）ことに象徴されるように、知識、理解についての丁寧な学習の定着と見て取れます。

しかし、一方で、知識、理解をベースにした実験結果の読み取り、考察などの思考・表現といわれる「学力」が今後強く求められることを考えると、事象をよく見て、課題を整理し、まとめ、表現する力を培うことが一層大切です。

基本的生活習慣について ～生徒質問紙より～

＜家庭学習について＞ 基本的生活習慣の調査結果から、本校生徒の家庭学習の特徴を全国平均と比べてみると授業の復習に課題が見られます。各教科では、その日の授業を家庭でもう一度復習をすることを推奨していますが、質問紙の結果からは全国平均や京都府の平均からも大きく落ち込んでいます。学校の授業では興味関心を持って積極的に授業に臨んでいるが、家庭へ帰ってその日の授業の振り返りがなかなかできていないことがわかってきます。

＜テレビ等の視聴について＞ もう一つ、本校生徒の課題が見えてきます。調査結果から家庭でのテレビ等（DVDを含む）の視聴時間が長いという結果が出ています。テレビやDVDの内容にもよりますが、全国平均よりかなり長い時間視聴しているという結果でした。

以上2点については、各家庭でも話題にいただき家庭学習の定着が進めば、今後の学習の定着につながると考えます。



規範意識・自尊感情について ～生徒質問紙より～

＜規範意識について＞「規則を守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の気持ちがわかる人間になりたい」等については、ほぼ全国平均の値を示しました。道徳教育の充実を図り、さらに意識向上を目指す取り組みを推進したいと考えます。

＜自尊感情について＞この項目では、「将来の夢や目標を持っている」という問いについては全国平均を大きく上回っていました。学校ではキャリア教育として、将来展望を持てるように様々な行事・取り組みを通して指導していますが、調査結果より本校生徒の多くは将来に夢や希望を持って、その実現のために日々頑張っていることがうかがえます。その一方で「自分には良いところがある。」という質問では、全国平均よりかなり低い値が出ています。自分にあまり自信が持てない生徒が多いことがうかがえます。今後の課題として、「自分に自信が持てる」ようになることをねらいとした、取り組みが必要だと考えます。

全体を通した本校の成果と課題

本校では、「一人一人の生徒を徹底的に大切にする」という方針のもと、学力向上の取り組みに関しても、高雄小学校と研修会や公開授業等を通して連携しながら、各教科の日々の授業で指導方法の改善や個に合った指導に努めています。今回の調査結果を見ても、国語・数学・理科のすべての教科で全国平均を上回る結果を出すことができました。これは、これまでの生徒の努力の成果であります。特に3年生になってからは、進路展望をしっかり持って日々の授業に向かっています。

しかし、生徒質問紙の結果から家庭学習の定着に関して課題が見えてきました。本校では昨年度末から「ウィークエンドスタディ(週末学習)」に取り組んでいます。週末には各教科から計画的に家庭学習の課題(宿題)を出しています。多少遅れても、全学年の全員がやりきって出すことが大切です。各ご家庭でも、週末には「週末学習やるか？」という声掛けをしていただいて、子供たちの家庭学習が定着するようお願いいたします。

また、「自分には良いところがある」と言えない生徒に、もっと自分に自信を持てるよう、今後各教科の授業だけでなく、総合の時間や特別活動の時間、また様々な行事を通して、取り組んでいきたいと考えています。

保護者の皆様へ

全国調査は、子供たちの学習状況を知り、子供たちの可能性を伸ばしたり、課題を解決するためのものです。結果が学力のすべてを表すものではなく、順位を競うものではありません。学力は学校・家庭・地域での地道な積み重ねで定着していくものであり、今後とも子供たちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。